

平成 23 年度 第 22 回全九州選抜高等学校バレーボール大会

シードチームの取り扱いについて

九州バレーボール連盟

競技委員長 山口泰夫

今大会におけるシードチームの取り扱いについては、これまで前年度の「九州選抜大会」、同一年度の「九州総合選手権大会」及び「九州総体」の結果をもとにシードチームを決定していました。

今年度は、大会日程が 3 日間に変更となり、九州バレーボール連盟並びに九州高等学校体育連盟バレーボール専門部と協議し、大会運営に関して、各県 1 位チームは予選グループを免除し、決勝トーナメントから試合を行い、各県 2 位、3 位、4 位チームはリーグ戦を行った後、上位 1 チームが決勝トーナメントで各県 1 位と対戦する組み合わせで、例年とは異なる方式で大会を実施する運びとなりました。変更に伴い下記の理由にて今大会においてシードは行わないことと致しました。

記

(理由)

- ・大会運営方法の大幅な変更による第 1 回目の大会のため。
- ・新人チームによる最初の九州大会であるため。
- ・シードポイントを持っているチームが県予選にて 2 位～4 位で出場する可能性があるため。

※次期大会及び次年度以降の今大会のシード等については大会終了後、九州バレーボール連盟並びに九州高等学校体育連盟バレーボール専門部にて協議する予定です。